

# 盛岡二 団体試合 V5

## 全国選抜3位の一戸を破る 主将今泉、会心のメン

第73回  
県高校  
総体  
第8日

（盛岡市・盛岡体育館）  
 ◎試合▽団体リーグ戦 ①盛岡二 1勝2敗③鈴木茉莉（二戸）1勝2敗  
 ②2勝①一戸1勝1敗③差石商工 1勝2敗  
 ④3位は順位決定リーグによる  
 （盛岡二は5大会連続18度目の優勝）  
 ◎演武▽決勝リーグ ①柴田茉莉・東山環音（二戸）3勝1敗  
 ②日奈太（盛岡三）3勝の山火毅平・柴莉・柴田優月（二戸）2勝1敗  
 ③西川紗生・今泉わく（盛岡二）1勝2敗  
 ◎女子個人決勝リーグ ①今泉わく（盛岡二）3勝②東山環音（二戸）1勝2敗

団体試合は盛岡二が3月の全国高校選抜大会3位の一戸を破って5大会連続の優勝を遂げ、伝統校の底力を示した。

両校はリーグ戦の最終試合で激突。先鋒渡辺真侑（3年）が一戸先鋒柴田優月（2年）の猛攻を息を切らしながらしのいで引き分けとし、次鋒西川紗生（同）が相手の一瞬の隙を突いてメンを奪い一本勝ち。序盤で大量リードを狙っていた二戸の勢いをそいだ。

昨年10月の県新人大会では、二戸に0-3で完敗。西川は「あまりの力の差にショックだったけれど、一つずつ身に付けていけばいつか必ず追い付けると信じて頑張った」と、OGらと地稽古を重ねて培ったスタミナと技の切れが生まれた。

中堅は引き分け、副将は一戸の東山環音3年に圧倒され1勝1敗。勝負は大将戦にもつれ込んだ。一戸大将の大崎夏望（同）の踏み込みは鋭く、不用意に飛び込めば出鼻を狙われる。だが取得本数で劣っており引き分けでは勝てない。

重庄の中、今泉わく主将（同）は「踏み込みには踏み込みでしか勝てない」と真つ勝負を挑んだ。足を止めずに隙をうかがい、試合終了間際、大崎の出鼻に渾身のメンを打ち込んだ。

今泉主将は「去年の惨敗があったからこそ、みんなが頑張ってくれた」とライバル一戸に感謝。「足腰やメンタルをさらに磨き、全国でも勝ち抜きたい」と誓った。（大田代）



女子団体 盛岡二—一戸 大将戦で盛岡二の今泉わく（右）がメンを奪う—盛岡市・盛岡体育館